



まちの広報部員がきたもと暮らしを楽しむ情報をお届け！

みどりと広報部

岡市長公室シティプロモーション・広報担当 (☎ 511-9119)

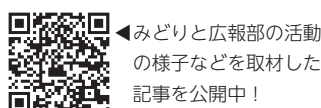


▲皆でどんなことを「広報」したいか考え、Instagramの使い方を学ぶ。

フィールドワークでは市内の「気になる」人や場所を訪ねて取材に挑戦！



みどりと広報部
(@andgreen_kitamoto)
Instagramはこちら▶



みどりと広報部の活動の様子などを取材した記事を公開中！

『みどりと広報部』は、昨年度から北本市シティプロモーション事業としてはじまった、北本の魅力を届ける市民PRチームです。北本の好きな場所や魅力的な食べ物、地域で活動する人など、「北本のいいところ」を参加者目線で発信しています。今年度も、継続の人や初めての人、北本市育ちの人や最近引っ越してきた人など、個性あふれるメンバーが集まり、Instagramでの発信を行ってきました。これまでの全7回の講座を通して、「普段なら身近な人に話すだけだった内容を、SNSを通して広く伝えられてよかった」、「知らなかった場所を皆の記事で知れたり、実際に行ったりできて楽しかった」、「前からそこにあったものも、見え方が変わって発見があった」と、部員の皆さんから活動を楽しむ声が寄せられています。部員の皆さんが取材した「北本のいいところ」は、Instagramからご覧いただけます。ぜひご覧ください！



部員が気になっていたという人や場所を皆で訪ねます。

北本の Key Person
この人に
会いたい

シティプロモーション動画 「みどりとまつり」 で広報コン県3位

映像制作者

小高 彩博さん

あやひろ

北本市で毎年開催している「みどりとまつり」では、初開催から「北本らしさ」を詰め込んだ動画の制作に携わっています。昨年のみどりとまつりを記録した動画「みどりとまつり & green fest」は、広報コンクール動画部門で県3位を受賞。さらに、2年前からは市民ライター講座「みどりと広報部」の講師を務め、SNSの運用方法や取材の技術を伝えるなど、その活躍の幅を広げています。小高さんが映像制作に興味を持ったのは、学生時代にバンド活動のライブ映像を撮影してもらったこと。動画サイトを通じて多くの人に広まるのを見て、映像の力に興味を持ったのだといいます。「大学2年生の時に、自分が参加した留学プログラムのPR動画を作る機会があって、初めて動画編集をしました。この動画が好評で、応募者も増えたそうなんです。自分の動画がきっかけで誰かに機

映像の力で依頼者の思いに寄り添いたい

会を作ることができんだと思うと嬉しくて、これを仕事として続けていきたいと思ったんです」映像の専門学校には通わず、独学で映像の勉強を続けた小高さん。卒業後の最初の一年は、別の仕事をしながら映像の勉強を続ける日々だったそうです。「夜や休日を使って、自分で勉強したり、友人の協力で撮影現場に通ったりしました。大変でしたが、カメラの師匠にも出会い、色々な経験ができたことで、自分に自信がついたと思います」そんな熱い思いで映像制作に携わる小高さんが大切にしているのが、「依頼人の思いにとことん寄り添う」ことなのだそう。「僕の仕事は、依頼者の思いを具現化することです。依頼してくださる方には、それぞれ表現したいものがあると思うんです。その思いをできるだけ丁寧にヒアリン



目指しているのは、“まちの映像屋さん”

グして、その人らしさを表現するようにしています」小高さんが制作した「みどりとまつり2024」の動画では、北本らしさを表す要素として、「音」が印象的に使われています。「木の葉の擦れる音や、子どもたちが遊ぶ声の中で響き渡る餅つききの音がすごく印象的だったので、動画の最初に使っています。都内の車や雑踏の音とは違う、心地いい北本の生活の音が、うまく動画に落とし込めていたら嬉しいですね。今年のみどりとまつりも、どう撮影しようかと色々考えています。ぜひ、公開を楽しみにしていってください」最後に、小高さんに今後の目標を伺いました。「将来的には独立して、北本で活動しようと思っています。写真や動画を通して誰かのやりたいことの実現を手伝う、そんな“まちの映像屋さん”を目指しているのでもう、皆さんにもぜひ気軽に相談してもらえたら嬉しいです」



▲小高彩博公式ウェブサイト



▲みどりとまつり動画はこちら